

令和7年度大和小学校 学校経営 全体構想《グランドデザイン》

大和中学校区の目指す児童生徒像：未来に向かってたくましく生きる大和の子の育成

茨城県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し、協力し合う心を育てる

大和小学校運営協議会のねらい

学校教育目標
自ら学び
未来に向かって
たくましく
生きる児童の育成

桜川市の教育目標

- ・自ら学び、能力を高め、生きる力をつちかう。
- ・生涯にわたり、健康な体と思いやりの心を養う。
- ・自然や歴史・文化を愛し、協力する心を育てる。

桜川市教育の重点

- ・信頼される学校
- ・信頼される教職員
- ・学校と地域の信頼・協働
- ・学校教育のDX化の推進

組織目標：自己肯定感・自己有用感を高め、笑顔と活力を育む学校づくり
認め合おう・伝え合おう・支え合おう・高め合おう

【令和7年度 経営方針】

- 1 「認め合おう・伝え合おう・支え合おう・高め合おう」を合い言葉に協働して課題の解決を図る活動を通して、笑顔と活力に満ちた学校を目指します。
- 2 一人一人が自分のよさや可能性を見出し、発揮し、仲間と高め合う活動を通して、自己肯定感・自己有用感を育みます。
- 3 子ども同士が言葉を交わし合い、支え合うピアサポート活動を通して、自分を大切に、仲間を尊重する共生の心を育みます。

【大和小いじめ0宣言】

- ・自分がされていやなことはしません。
- ・勇気を持って、友達を守ります。
- ・言いたいことは、やさしい言葉で伝えます。
- ・知らんぷりせず、声をかけます。
- ・一人一人の違いを認めます。

徳P：共生の心・自律

○当たり前のことがしっかりとできる指導の徹底

- ①大和小いじめ0宣言を咲かせよう大作戦ーあいさつの活性化
- ②「もくもく清掃」・「みるみる清掃」の推進
- ③「くつピタ・はい(返事)・ありがとう」の推進

○自己肯定感と自己有用感を高める学級・学校づくり

- ①自分大好きプロジェクトの推進ー自分のよさを感じてできる場の設定
- ②一人一役を明確にした活動の充実(係・委員会・学校行事等)
- ③人権教育の日常化と人権週間の取組の工夫

○児童主体の活動・ピアサポート活動の充実

- ①ピアサポート活動の見える化ー大和小いじめ0宣言を基盤に
- ②児童から児童へと広げるボランティア活動の活性化(縦割り班を生かして)
- ③児童の学校運営への参画(児童会活動の活性化)

知P：確かな学力・学び合う力

○子ども主体の「探究的な学び」の実現

- ①自ら問い(課題)を見つけ、主体的に解決するための学習過程の工夫
- ②次時に繋げる振り返りの充実ー視点「はひふへほ」の定着
- ③単元のまとまりを踏まえた1単位時間の授業の構想と実践

○豊かな言葉の獲得と活用する力の育成

- ①語彙力を高める多様な活動の設定
- ②全ての教科にわたって取り組む表現力の向上
- ③言葉への興味関心を高める校内環境の充実

○伝え合い、学び合う言語活動の工夫・充実

- ①相手意識と目的意識をもち、相手に分かるように表現する活動の充実
- ②根拠を明らかにして自分の考えを伝える活動の充実
- ③学習のねらい(使う目的)に応じたICTの効果的な活用

体P：健やかな体・やり遂げる心

○目標を立てて最後までやり遂げる健康・体力づくり

- ①家庭と連携した「早寝・早起き・朝ご飯+外遊び」の推進
- ②大和小子パワーアッププロジェクトの推進(走力・握力アップ)
- ③運動がしたくなる場や教材・教具の開発と体育館の有効活用(雨天時)

○仲間と高め合い、達成感を味わう体育的行事の工夫

- ①楽しく高め合って取り組む持久力アップ運動の工夫
- ②いばらきスポーツチャレンジへの積極的な参加(連続8の字跳び)
- ③体育授業における児童が関わり合う場の充実

○命を守るために、自ら考え、行動できる児童の育成

- ①自ら考え、判断する避難訓練の実施
- ②登下校指導の徹底と通学班会議の充実
- ③SNS・ネット等との適切な付き合い方を学ぶ場の設定

【働き方改革の推進】

自らの人間性や創造性を高め
質の高い教育活動を行う

- 教職員の意識改革
- 勤務時間の適正化
- ねらいを踏まえた業務改善
- 学校運営体制の工夫・改善

【教職員研修の充実】

ことばの力を高め、自分の思いや
考えを適切に表現する力の育成

- 教材研究の充実と専門性の向上
- 授業研修・相互参観の充実
- 研究成果の共通実践
- 研修会への積極的な参加と共有

【保幼小・小中連携・小中一貫教育の推進】

- 保幼小交流会
- 小中合同あいさつ運動
- 運動会での小中交流
- 中学校専科教員の授業
- 小中・小中間での授業参観
- 児童・生徒理解の共有

アナログとデジタルツールのベストミックスの推進による効果的な教育活動の展開